

Mac 版 Cisco Jabber 12.7 リリース ノート

初版 : 2019 年 9 月 9 日

最終更新 : 2020 年 1 月 14 日

ビルド番号

Version	ビルド番号
12.7 (1)	12.7.1.300628
12.7	12.7.0.288631

自動更新用 XML ファイルの DownloadURL ファイル要素は、次のとおりです。

リリース	ファイル名
12.7(1)	Install_Cisco-Jabber-12.7.1.300628-104904515-MC0CFQCYaddr1zsE2jCHTVW0yOYX9vT0kgfUC9VQJ8gByHM2jqVV4HXQVDIU5rE!.zip
12.7	Install_Cisco-Jabber-12.7.0.288631-104883351-MCwCFH0RoLLSfqAE5WPYkthxmMLECwXDAhRx0Ujg4aNaanhyMQBFUWEZKvHuQ!!!.zip

DownloadURL

DownloadURL ファイル要素は、Mac 版 Cisco Jabber インストール ファイルを参照します。更新サーバのインストールファイルの名前は、この DownloadURL ファイル要素の名前と一致するように変更する必要があります。

ユーザがクライアントを手動でインストールする場合は、手動インストールファイルをダウンロードすることもできます。



- (注) DSA 署名を正常に完了させるには、特殊文字をエスケープするように ウェブ サーバを設定します。たとえば、Microsoft IIS でのオプションは [2 重スペースを許可する (Allow double spacing)] です。

リリースの新機能 12.7(1)

解決済みの不具合 (p.11)

このリリースでは、いくつかの既知の問題が修正されています。このリリースで修正された警告のリストについては、「リリース 12.7(1) の解決済みの警告」の項を参照してください。

リリースの新機能 12.7

Apple の影響力

MacOS 10.15 上の Mac 12.7 向け Cisco Jabber については、Apple の手順を完了しました。

ただし、これらのサードパーティ製 Sennheiser ヘッドセットプラグインはまだ公証していません。

この要件が満たされていないため、Mac 版 Cisco Jabber 12.7 は、これらのヘッドセットのコール制御 (応答、拒否、保留 および再開) をサポートできません。

この問題の詳細については、Sennheiser を参照してください。

ユーザエクスペリエンスの向上

現代的なデザイン

新しい最新の設計により、このリリースでのユーザの操作性が向上しました。最新の設計では、単一ウィンドウの UI が機能しています。Jabber デフォルトでは、すべての導入で最新の設計になっています。オンプレミスおよび Webex Messenger の導入環境のユーザは、従来の設計を使用することを選択できます。

Jabber チームのメッセージングモードでは、最新の設計ビューのみがサポートされています。ユーザは、Jabber チームメッセージングモードでクラシック設計を選択することはできません。

オンプレミスまたは Webex Messenger の導入をデフォルトにクラシック設計にする場合は、Uxmodel パラメータを使用してデフォルトを設定できます。使用可能な値は、**最新**(デフォルト) と **クラシック** です。各ユーザの設定は、このパラメータよりも優先されます。詳細については、[Cisco Jabber のパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

ユーザは、[**設定 (Preferences >)**] **アピアランス** で好みの設計を選択して、アプリケーションをカスタマイズすることもできます。

テーマ

Jabber アプリケーションのテーマが追加されました。使用可能なテーマは次のとおりです。

- デフォルト
- ダーク
- 高コントラスト
- システム設定

ユーザは、[**設定 (Preferences >)**] **アピアランス** を使用して使用可能なテーマを切り替えることができます。

Office 365 の移行のためのプロンプトの改善

管理者がユーザアカウントを Office 365 に移行すると、[チャットを Outlook に保存 (Save chat to Outlook)]を使用するユーザは、アカウントが移行されたことを示すメッセージを受信し、この機能を使用し続けるためにクレデンシャルを再送信するように求められます。

アクセシビリティの向上

クライアント全体で、次のようなアクセシビリティの改善が行われました。

- スクリーンリーダーのアクセシビリティ テキストを改善しました。
- コントラストの高いテーマが追加されました。これにより、色のコントラストが向上し、より大きなフォントサイズがサポートされます。
- スクリーン共有ボタンにフォーカスを移動するには、Ctrl+Cmd+M というショートカットキーを追加しました。共有を停止するか、または別のアプリケーションを共有するかを選択できます。

チャットルームは、参加者リストの可視性を維持する

オンプレミスおよび Webex Messenger の導入で、グループチャットとチャットルームの参加者リストの動作が変更されました。これで、あるチャットルームから別のチャットルームに切り替えると、参加者リストの可視性が維持されます。チャット A で参加者リストを開き、チャット B に切り替えると、チャット A に戻ったときに参加者リストが表示されます。

個人対個人チャットはこの方法では動作しません。

タブラベルの表示

デフォルトでは、リリース 12.6 では、クライアントはタブ ウィンドウにタブラベルを表示しませんでした。ユーザは、設定を使用してタブラベルを有効にすることができます。

タブを表示するためのデフォルトの動作を変更する場合は、新しい ShowTabLabel パラメータを使用します。各ユーザの設定は、このパラメータよりも優先されます。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

Jabber チームメッセージング モード

Cisco Webex Control Hub を介してクライアントを構成する

Jabber Team メッセージング モードは、Cisco Unified Communications Manager とその呼び出し機能を必要としない IM 専用モードで実行できます。Jabber 設定ファイルの展開サイトとして Unified CM を置き換えるために、Jabber 設定ファイルをコントロールハブにアップロードできます。組織ごとに 1 つの構成ファイルをアップロードできます。

サービスに移動してから、メッセージカードを選択して **設定** を選んでください。アップロード設定ファイルを選択します。このファイルは .xml 形式である必要があります。

コントロールハブと Unified CM の両方に Jabber 設定ファイルがある場合、Unified CM のパラメータの値が優先されます。

People Insights

People Insightsは、Jabber Team Message Mode ユーザーに連絡先の専門的プロフィールを提供します。連絡先カードが表示される場所であればどこでも、連絡先リスト、会話、通話履歴、Voice Mail 履歴からユーザーは People Insights にアクセスできます。

この機能は、プロフィールで公開されている情報と、同じ会社のユーザーに対する社内ディレクトリ情報のみを表示します。この内部ディレクトリ情報は、社外のユーザーには表示されません。ユーザーは自分のプロフィールを編集して、データを追加できます。詳細については、[People Insights とは](#) を参照してください。

People Insightsを有効にするには、コントロールハブに移動し、**[設定] > [ディレクトリ同期] および [People Insights]** を選択して、**[People Insightsの表示]** トグルをオンにします。

サイレント 設定

[サイレント] 設定の間隔を 30 分、1 時間、2 時間、4 時間、8 時間、24 時間に変更しました。

非 Jabber アクティビティに基づくプレゼンス

以前のリリースでは、Jabber チームのメッセージングモードは、Jabber アプリでのアクティビティのみに基づいてユーザーの存在を報告していました。Jabber は、コンピューター全体のアクティビティに基づいてユーザーの存在を報告するようになりました。

コンテンツ管理設定(ECM)サポート

ECM ファイルを表示、送信 および受信できます。OneDrive または SharePoint Online から ECM ファイルをアップロードし、それらを表示する権限がある他の Jabber ユーザーにチャットで送信します。ユーザーは添付ファイルを送信するときに、コンピューターまたは ECM アカウントからファイルをアップロードすることを選択できます。ユーザーは、組織内の他のユーザー、またはファイルにアクセスできる特定のユーザーにファイルを送信することを選択できます。受信者が ECM 添付ファイル付きのメッセージを取得したら、ファイルを表示または開く前に、その ECM サービスにログインする必要があります。

詳細については、<https://help.webex.com/en-us/nfia8at/Configure-Enterprise-Content-Management-Settings-in-Cisco-Webex-Control-Hub> および <https://help.webex.com/en-us/nuvy9lb/Enterprise-Content-Management-in-Cisco-Webex-Control-Hub> を参照してください。

引用メッセージ

同じスペースで別のメッセージを引用することにより、メッセージにコンテキストを追加できます。メッセージを引用するには、引用するメッセージにカーソルを合わせて、**[メッセージの引用]** を選択します。メッセージを送信すると、引用されたメッセージがスペース内のメッセージの上に表示されます。

BOT サポート

BOT が検索結果に表示されるようになりました。BOT をスペースや既存の会話に追加し、BOT で新しいコンバージョンを作成できます。BOT を見つけるには、検索バーに移動し、名前の最

初の数文字を入力します。BOTは、連絡先とディレクトリの結果の下に、独自のカテゴリで表示されます。

Jabber Team Messaging Mode ユーザーは、Webex Platform Service の一部として展開されているBOTを検索して使用できます。これらのBOTは [Cisco Webex App Hub](#) で見つけるか、ユーザー用に **独自のBOTを開発** できます。Cisco Jabber BOT SDK からのBOTは、オンプレミスおよびWebex Messenger 展開でのみ機能します。

プロキシ認証サポート

以前のリリースでは、プロキシ認証はサポートされていません。Jabberは、この表に概説されているプロキシ認証をサポートするようになりました。

製品	サポートされている認証タイプ	サポートされているプロキシ構成方法
Windows 版 Cisco Jabber	認証なし、基本、NTLM、ネゴシエート	マニュアル、PAC
Mac 版 Cisco Jabber	認証なし、基本、NTLM	マニュアル、PAC
VDI 版 Cisco Jabber Softphone	認証なし、基本、NTLM、ネゴシエート	マニュアル、PAC
<p>Mac での NTLM 認証では、コンピューターがドメインにサインインしていない場合、ユーザーはパスワードの入力を求められます。Windows または VDI 用の Jabber Softphone の場合、コンピューターはドメインにサインインする必要があります。</p> <p>認証なしの認証タイプの場合、プロキシアドレスを使用してコンピューターをセットアップできますが、認証は使用されません。</p>		

プロキシ自動構成 (PAC) ファイルの詳細については、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/security/web_security/connector/connector2972/PACAP.html を参照してください。

プロキシ認証、証明書

TLS 検査プロキシを展開する場合は、証明書の検証を成功させる信頼チェーンを使用して、デバイスの OS に CA 証明書をインストールします。

Jabber は、通信するシステムの証明書を検証します。Jabber は、他のシステムの OS にある信頼されたルート認証局のリストに対して TLS セッションの証明書を検証します。Jabber はまた、既知の悪意のあるまたは侵害された認証局に対して証明書をチェックします。

会議

オンデマンドレコーディング

以前のリリースでは、Jabber のすべてのコールに対して録音を有効または無効にすることしかできませんでした。オンデマンド録音では、ユーザが Jabber の組み込みブリッジ (BiB) を使用してコールを選択的に録音できるようにするオプションが用意されています。この機能を有効

にすると、[コール制御 (call control)] メニューには、ユーザがいつでも録音を開始および停止するためのレコードオプションが含まれます。

この機能をサポートするためには、Ciscoユニファイドコミュニケーションマネージャリリース 12.5(1) が必要です。

オンデマンド録音の使用の詳細については、『[Feature Configuration For Cisco Jabber guide](#)』を参照してください。

Prefer_BiB_recorderパラメータを使用して、Jabber BiB ですべての録音を強制的に実行することができます。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータリファレンスガイド \[英語\]](#) を参照してください。

アプリケーション共有

コール、CMR 会議コール、またはCMS 会議コール中に画面を共有すると、画面全体を共有するのではなく、特定のアプリケーションに対して共有する内容を制限できます。ここで、[共有 (Share)] 画面から、共有するアプリケーションを選択するオプションが用意されています。

コラボレーション会議室の制御の更新

このリリースでは、ホストがすべての参加者をミュートまたはミュート解除する機能を提供します。

発信

ボイスメールの改善

デスクトップクライアントのボイスメール機能が改善されました。

ユーザは、コールを発信せずにボイスメールを作成し、1つ以上の連絡先にボイスメールを送信できます。ボイスメールサーバの管理者は、ユーザがボイスメールを送信できる同報リストを作成することもできます。ユーザは、ボイスメールサーバのカタログから受信者を選択できます。

ユーザは、ボイスメールの送信者またはそのメッセージのすべての受信者に直接返信できます。ユーザは、ボイスメールを新しい受信者に転送することもできます。

単一回線の電話番号またはラベルを表示

複数行の操作では、ユーザは選択リスト内の設定済みの行を選択します。選択リストには、電話番号または各行のラベルが表示されます。以前のリリースでは、1つの回線しか持たないユーザには選択リストが表示されません。

これで、電話専用モードと電話機で連絡先を展開した電話モードでは、1つの回線の番号またはラベルがデフォルトで表示されます。UC モードのフル展開では、1つの回線の番号またはラベルがデフォルトで非表示になっています。

新しいSingleLinePhoneLabelパラメータを使用して、単一行操作のデフォルトの動作をオーバーライドできます。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータリファレンスガイド \[英語\]](#) を参照してください。

複数行の改善

以前のリリースでは、Jabber には次の複数行の制限があります。

- CTI 対応ユーザは、据え置き電話のプライマリ回線のみを制御できます。
- 異なるパーティションに関連付けられているものと同じ番号を持つ2つの回線を設定することはできません。

リリース12.7 では、ユーザは据え置き電話のすべての回線を制御できます。異なるパーティションに関連付けられているものと同じ番号を持つ2つの回線を設定することはできません。

セキュリティ

更新されたサインアウト動作

ユーザーが Jabber からサインアウトする場合、次にサインインするときに再認証する必要があります。

次の場合、ユーザーは再認証する必要はありません。

- 構成を変更するには、サインアウトする必要があります。
- Jabber アプリを強制終了し、再起動します。（デスクトップユーザーの場合、これには **[Jabber の終了]** を選択した場合も含まれます。）
- タッチ、指紋、または顔 ID が有効なモバイル Jabber ユーザー。

更新トークンの OAuth 処理

展開で OAuth を有効にしている場合、Jabber はデフォルトで、ユーザーがサインインするときに期限切れの更新トークンをチェックします。更新トークンの有効期限が切れた場合、ユーザーは再認証する必要があります。ユーザーがサインインしている間に更新トークンの有効期限が切れると、Jabber はセッションが期限切れになったというメッセージでログアウトします。

LegacyOAuthLogout パラメーターは、この動作を制御します。期限切れのリフレッシュトークンに対する **false** チェックのデフォルト値。値を **true** に設定すると、Jabber は期限切れの更新トークンをチェックしません。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

グローバル ショートカット キー

セキュリティのため、デフォルトでのグローバル ショートカット キーが無効になりました。

グローバル ショートカット キーを有効にするには、最初にシステム セキュリティ設定を更新します。**System Preferences > Security & Privacy > Privacy > Input Monitoring** に移動して、Cisco Jabber を有効にします。その後、**[Preferences] > [General] [> global]** ショートカットを使用して、Jabber でグローバル ショートカット キーを設定できます。

要件

Cisco Jabber 要件

多くの Cisco Jabber 要件は複数のクライアントタイプ間で共通です。クライアント固有の要件はリリースノートに文書化されていて、他のすべての要件は *Cisco Jabber* 用プランニングガイドに文書化されています。

Mac 版 Cisco Jabber のオペレーティング システム

Mac 版 Cisco Jabber は、次のオペレーティング システムへインストール可能です。

- macOS Org.apache.catalina 10.15 (またはそれ以降)
- macOS Mojave 10.14 (またはそれ以降)
- macOS High Sierra 10.13 (またはそれ以降)

シスコは、Apple の Mac 12.7 版 Cisco Jabber を公証しました。

デスクトップクライアントのハードウェア要件

要件	Windows 版 Cisco Jabber	Mac 版 Cisco Jabber
搭載されている RAM	Microsoft Windows 7 および Windows 8 上の 2 GB RAM	2 GB RAM
物理メモリの空き容量	128 MB	1 GB
ディスクの空き容量	256 MB	300 MB
CPU の速度およびタイプ	AMD モバイル Sempron プロセッサ 3600+ (2 GHz) Intel Core 2 Duo プロセッサ T7400 @ 2 (16 GHz)	Intel Core 2 Duo もしくはそれ以降の次のいずれの Apple ハードウェアのプロセッサ <ul style="list-style-type: none"> • iMac Pro • MacBook Pro (Retina Display モデルを含む) • MacBook • MacBook Air • iMac • Mac Mini
GPU	Microsoft Windows 7 上の DirectX11	該当なし

要件	Windows 版 Cisco Jabber	Mac 版 Cisco Jabber
I/O ポート	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

CTI でサポートされるデバイス

ユニファイドコミュニケーションマネージャで、コンピュータテレフォニーインテグレーション (CTI) でサポートされているデバイスのリストを表示するには、次のようにします。

1. シスコのユニファイド レポーティング ページから、[システム レポート (System Reports)] メニューから [ユニファイド CM 電話機能リスト (ユニファイ CM Phone Feature List)] を選択します。
2. レポートを開いた後、[機能] ドロップダウンリストから [CTI制御(CTI controlled)] を選択します。

制限事項

macOS 10.15 の新しい認定要件

Apple では、macOS 10.15 で信頼済み証明書に対する新しい要件があります (<https://support.apple.com/en-us/HT210176> を参照)。ユニファイド コミュニケーション マネージャ、IM およびプレゼンス、および Expressway サーバがこれらの要件を満たしていることを確認してください。証明書がこれらの要件を満たしていない場合、セッションごとに証明書を承認するよう求めるメッセージがユーザに表示されます。

シングルナンバー リーチ

バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよび Remote Access で Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングルナンバー リーチを有効にする必要があります。詳細については、*Cisco Jabber 12.0* の機能構成ガイドのシングルナンバー リーチの有効化のセクションで制限を参照してください。

チャットを Microsoft Outlook に保存

Outlook 2016 を使用すると、Outlook はチャットで送信された画像を保存しません。ただし、Outlook では、チャットに絵文字が保存されます。

アップグレード後のオーディオ デバイスの設定

ユーザがクライアントをアップグレードすると、選択しているオーディオデバイスのリセットが発生します。この問題を解決するには、[オーディオ/ビデオ設定] ウィンドウでオーディオ デバイスを設定します。CSCva48136 では、この制限を文書化しています。

ウイルス対策

アンチウイルス ソフトウェアを導入しているデバイス上の Cisco Unity Connection にクライアントが接続すると、ボイスメール接続で問題が発生する可能性があります。この問題を解決するには、アンチウイルス ソフトウェアの例外リストに Cisco Unity Connection サーバー情報を追加します。

共通アイデンティティ ユーザ

共通アイデンティティに移行した一部のユーザの Cisco Jabber へのサインインに関して既知の問題があります。ユーザ名とパスワードの入力時に、不正なユーザ名またはパスワードという旨のエラーメッセージが表示される場合、以下のナレッジベースの項目を参照してください。
https://cisco-support.webex.com/guest/articles/en_US/Troubleshooting/WBX000019555/myr=false

Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 ユーザーのデバイス作成と設定

Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 でユーザ用のデバイスを設定しているときに、次のいずれかのようにキーの順序を指定できるようになりました。

- [RSA Only]
- [EC Only]
- [EC Preferred, RSA Backup]

ただし、Cisco Jabber は **EC Only** のオプションをサポートしていません。これを選択すると、クライアントはサーバへの接続に失敗します。

CTI の接続のための証明書の検証

Cisco Jabber は、CTI 接続に証明書の検証を使用します。証明書の署名には、パブリック CA、またはプライベート CA の使用をお勧めします。

自己署名証明書を使用して Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ に接続すると証明書検証で障害が発生します。この問題を解決するには次のいずれかを行います。

- 最初の証明書検証で失敗したときに無効な Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ の自己署名証明書をユーザが承認すると、Cisco Jabber が信頼ストアにこの証明書を保存します。
- 証明書導入管理アプリケーションを使用して、証明書をデプロイします。

Expressway Mobile and Remote Access

Expressway for Mobile and Remote Access 展開の場合、オンライン証明書ステータス プロトコル (OCSP) またはオンライン証明書失効リスト (CRL) を使用して証明書ステータスを確認するとき、Cisco Jabber が 5 秒未満の応答時間が予想します。接続は、応答時間が 5 秒を超えた場合、失敗します。

オーディオまたはビデオ通話での Cisco Jabber を使用時のネットワーク切断

DSCP が有効な場合、Mac OS でネットワーク インターフェイスのドロップが断続的に発生するという既知の問題があります。

この問題に遭遇した場合は、次の操作を実行します。

1. [初期設定 (Preferences)] > [コール (Calls)] > [詳細 (Advanced)] を選択します。
2. [Enable Differentiated Service for Calls] のチェックを外します。

Standard CTI Secure Connection ユーザ グループ

Mac 版 Cisco Jabber では、現在、Transport Layer Security (TLS) 経由での CTI 接続をサポートしていません。そのため、Mac 版 Cisco Jabber ユーザは、Standard CTI Secure Connection ユーザグループに属するときに、CSF デバイスからデスクフォンに切り替えられなくなります。

エンタープライズ グループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に 1 つずつ解決します。エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに追加するか、または自分のローカルキャッシュをクリアすると、最初は各ユーザのユーザ名とドメインのみが表示されます。その他の情報は、次にマウス オーバーするか、人と対話するときに表示されます。

Cisco ヘッドセット 56x がサポートされていない Bluetooth の接続

Cisco Jabber は、モデル 56x シスコ ヘッドセットでの Bluetooth の使用をサポートしていません。USB-C ~ USB コネクタケーブルによって、これらのヘッドセットを使用できます。

不具合

警告では予期しない動作について説明します。次の各項では、最新情報の取得方法について説明します。

バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

手順

-
- ステップ 1 バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search> をクリックします。
 - ステップ 2 自分の Cisco .com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
 - ステップ 3 特定の問題の情報を検索するには、[検索 (Search for)] フィールドにバグ ID 番号を入力して [入力 (Enter)] を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
-

バグの重大度レベル

既知の障害またはバグには、障害のプライオリティを示す重大度レベルが設定されています。これらのリリースノートには次のバグタイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重要な重大度レベル 3 のバグ。
- シビラティ 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべての不具合

重大度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策はあります。 ドキュメンテーションバグの最も高いレベル。
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

リリース 12.7(1) で未解決の問題

ID	重大度	見出し
CSCvr43256	3	Mac 画面共有を Jabber すると、Jabber がクラッシュします

リリース 12.7 (1) で解決済みの問題

ID	重大度	見出し
CSCvr39510	2	IM が無効になっている場合、Jabber は会話を開始するオプションをマスクする必要があります。

ID	重大度	見出し
CSCvr58963	2	Jabber ログイン メッセージ「テレフォニー構成設定が無効です。」

リリース 12.7 で未解決の問題

ID	重大度	見出し
CSCvr12551	3	Jabber は、MRA を介したフェールオーバー シナリオのアクセス トークンを更新しない

リリース 12.7 で解決済みの問題

ID	重大度	見出し
CSCvq46893	2	MAC のオープン時に Jabber 12.6.1 がクラッシュします
CSCvp61058	3	Jabber MAC の Voice on screen 機能は、検索された連絡先の返却をしません。
CSCvq03999	3	Jabber と Mac カレンダーの統合との間の会議ホストの不一致
CSCvq10625	3	Jabber でドイツ語の翻訳エラーが発生しました。ボタン「Zeitplan」は通常「geplan te Konferenz」にする必要があります。
CSCvq28009	3	Jabber ボット: HTML での入力 <textarea>クライアントのメッセージ入力ウィンドウにフォーカスを移動する
CSCvq66901	3	Mac 12.6.1 の Jabber は、Webex にコールするときに参加者リストを表示できません
CSCvq97047	3	Jabber MAC は、通話履歴からダイヤルアウトしたときに国コードを除去します。

